

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	空間構造における計算機応用小委員会		主 査 名：元結 正次郎 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：大森 博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空間構造における計算機の応用実情の整理 ・ 委員による各関連研究の推進と情報交換 ・ 項目別の整理と課題の抽出 ・ 成果報告書のまとめ 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	武藤厚(名城大) 萩原伸幸(大同工大) 村田賢(名城大) 松井徹哉(名城大) 大森博司(名大) 本間俊雄(鹿児島大) 川端昌也(横浜国大) 西村督(金工大) 福田隆介(鹿島) 水谷太郎(大成建設) 向山洋一(巴コーポレーション) 吉野達矢(太陽工業)		
設置 WG (WG 名：目的)	空間構造の構造解析と評価 WG：空間構造を対象とした構造解析システムの調査・分析 シェル・空間構造の形態創法 WG：構造形態創法に関する調査・分析		
2005 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 空間構造におけるコンピュータ利用の新しい試み
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 「空間構造におけるコンピュータ利用の新しい試みと将来展望」 東京・名古屋の 2 会場にて開催 参加者数 100 名 (資料名) 同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 上記の刊行物は前委員会からの引継ぎ事項であるが、これに関連する査読への対応や上記セミナーの開催など、目標どおりの活動となった。 2. ワーキングを 2 つ立ち上げ、具体的な目標への活動を開始した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員会を開催する旅費が不足している。